

『継続と革新、さらなる高みへ！ 東京都医師会』

1. コロナ禍での医療提供体制の堅持・拡充と社会活動再開を目指す

- 1) 新型コロナウイルス感染症診療体制への地域包括ケアシステムのさらなる活用
地域包括ケアシステムの構築を進め、医療・介護・福祉が一体となった地域での医療等提供体制を整備・確立する
- 2) 新型コロナウイルスワクチン接種体制のさらなる拡充
地区医師会が主導してきたワクチン接種体制を、三師会・他の医療関係者と協働した継続性のある接種体制へと進化
- 3) 期待される治療薬の開発・治験に対する協力
多彩な臨床現場や施設、多くの会員や医育機関が所属する当会の特性を生かした協力体制の推進
- 4) 迅速抗原検査等を用いた社会活動の再開
即時性のある検査とその結果の報告システムを提案し一般に広め、ワクチン接種との両面から感染蔓延防止を図りつつ社会・経済活動の再活性化を目指す
- 5) 行政への医療的見地からの提案と協働
都立・公社病院のサージキャパシティ(感染拡大時の許容能力)の維持を提案。危機管理体制構築のため、巨大組織ゆえの縦割り行政を打破し一本化された窓口(仕組み)づくりの提案と協力

2. ポストコロナに向けて“ヘルシーシティ東京”の実現と将来的な医療提供体制の充実

- 1) “ヘルシーシティ東京”を目指す
健康寿命の延伸と健康格差の是正を通じて、都民が自然に健康になっていく都市づくりを推進
- 2) 切れ目のない保健制度と健康情報の継続・活用
母子保健から老人医療まで切れ目なく続く保健制度の中でPHR(Personal Health Record)を確立し、診療所の日常診療を予防医療強化へもシフト。ヘルシーシティ東京につなげる
- 3) かかりつけ医の育成
かかりつけ医の役割を明確化し、地域に密着した病院と診療所が一体となって地域医療を担う、かかりつけ医の養成に協力する
- 4) 医療ICTネットワークの構築
実効性があり使いやすい、持続可能性のある都民のための医療ICTネットワークを目指すとともに、東京CCUネットワーク・脳卒中医療連携協議会等とも連携して救急対応を強化する
- 5) 小児の成育・医療環境の充実
成育基本法の施行、こども庁創設の方向性等に沿って、こどもたちの成育・医療環境の益々の充実と発展に努め、貧困に対しても医療的課題に取り組む
- 6) 女性の活躍をさらに推進
女性がもっと躍進し活躍できる社会を、医療界が先頭となって実現する
- 7) 高齢者の健康増進と高齢運転者対策の抜本的見直し
認知症・フレイル対策をさらに進め、高齢者の健康理念を高め、自立した生活を支援する。併せて高齢者が安全で安心して運転できる社会環境づくりを推進する

3. 社会保障制度、保険診療等の進化と見直しを東京都医師会から提言

- 1) 都民・医師・社会がともに納得する持続可能な制度設計を検討
東京の地域性を考慮しながら、社会保障制度、保険診療、延いては保険制度体制全体を都民・地区医師会・関係組織・都と検討し提案
- 2) 日本医師会・国と連携した現状分析・議論と提言
地域の特異性などを十分に勘案し対応できる柔軟な制度への検討に協力し、提言。実現を推進

4. 都民のための医師会組織の強化

- 1) 医療を提供する組織としての強化
医療を提供する専門集団としての総力結集・方向性の同一化は、新型コロナウイルス感染症対策でもその重要性が明らかである。今後さらに高い組織率を目指す
- 2) 会員・地区医師会・大学医師会・当会が一体となった情報共有と意見交換、相互理解
種々の媒体を用いて地域の医療現場の状況や課題、要望等を迅速に議論できる機会を提供。一方で都全体を俯瞰する当会への会員理解を深める
- 3) 地域医療確保のために会員医療機関を支援
今回のパンデミックのように社会状況が激変した際に会員医療機関を守ることは、地域医療の確保につながる。働き方改革も見据えて、社会や経済の変化に対応しながら会員支援を進める

5. 都民（国民）への正確で適切な情報提供と医師会組織への理解の深化

- 1) 各種メディアを用いた都民への情報提供と啓発
パンデミック時など情報氾濫に襲われる都民に対して、正確で適切な情報を迅速に発信・周知啓発に努め、延いては都民の健康リテラシー増進に繋げる
- 2) 医師会組織の役割・意義の周知と理解促進
医療・介護・福祉全体にわたって、行政と両輪をなす医師会組織への理解を進める（組織率上昇にも寄与）
- 3) 公共メディアの理解促進
公共メディアへの協力と相互理解を進め、協働して正しい情報を都民（国民）に伝えるとともに、適切な方向性を持ったムーブメント（世論）形成へと繋げる